

令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうふうかい 皐風会		団体ウェブサイトURL http://www.koufuukai.net/
代表者職・氏名	代表 小島英明		
制作団体所在地	〒 164-0003	最寄り駅(バス停)	東京メトロ東西線「落合」駅
	東京都中野区東中野4-30-18 リビオ東中野地下1階 小島能舞台内		
電話番号	03-6383-2262		
ふりがな 公演団体名	こうふうかい 皐風会		団体ウェブサイトURL http://www.koufuukai.net/
代表者職・氏名	代表 小島英明		
公演団体所在地	〒 164-0003	最寄り駅(バス停)	東京メトロ東西線「落合」駅
	東京都中野区東中野4-30-18 リビオ東中野地下1階 小島能舞台内		
制作団体 設立年月	1919年9月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	・代表:小島英明 ・副代表:栗原幸江(幹事) ・会計監査:小倉親子(公認会計士) ・事務局長:小島 清(観世流門下)		(1)団体構成員 役員8名の他、企画制作1名、 会員82名、計89名。芸術団体数4 (2)加入の条件 観世流(能楽)宗家より免状を 許された取得者。コーディネーター等。
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	小島美樹

経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	尾藤文隆(税理士) 小島美樹(経理担当)
-------------------	---	--------	-------------------------

制作団体沿革	<p>当会は1919(大正9)年、能楽師観世流シテ方の小島曙光(現代表・能楽師観世流シテ方・小島英明の祖父)が設立。その後能楽師観世流シテ方の小島芳雄(現代表の伯父)に引き継がれ、2000年、小島英明が受け継ぎ、代表となって今に至る。東京を中心に全国各地で本格的な演能、蠟燭能、薪能を企画実施する一方で解説付能公演やワークショップ等の初心者向けの講座も積極的に企画、開催している。20また日本各地で能楽愛好者の指導も長年行い、能楽の普及・発展に力を尽くしてきた。特に文化庁の委託事業としては、九州国立博物館(大宰府市)にて、能楽ワークショップを無料で開催。中野区と白石市(宮城県)で「伝統文化こども教室・能楽」を実施し本年度で21年目となる。「伝統音楽普及促進支援事業・先生方のための能楽講座」(7ヶ年継続)を東京と宮城の2か所で実施。「文化芸術による子供育成総合事業」他、多年にわたり実施した。2022年補正予算事業を実施。2010年には「小島能舞台」が完成。皐風会の活動の本拠地として「能楽」の講座はもちろんの事、伝統文化の発信地とするため、新たな活動を企画運営している。2014年には当代表小島英明が重要無形文化財総合指定保持者の認定を受ける。2019年に設立100周年を迎えた。2021年、文化庁アートキャラバン事業において「日本全国能楽キャラバンIN宮城」(宮城県白石市碧水園能楽堂)での観世流公演の企画制作を担当し実施した。</p>		
学校等における 公演実績	<p>本会の代表である小島は、芸団協主催「伝統芸能に触れる授業プログラム」や日本財団助成事業「中・高校生のための能・狂言鑑賞教室」、東京未来塾(東京都教育委員会主催)、「文化庁伝統音楽普及促進支援事業」の各講師を勤める経験を通じ、学校において児童・学生を対象とした伝統芸能や音楽を鑑賞し実際に触れる機会をつくる事、能の鑑賞者育成の重要性を感じ、当会の活動課題の一つと位置付け活動してきた。「能」を解りやすく、興味を持ってもらうように、且つ「本物の伝統が持つ力」をきちんと伝える事を大切にしてきた。テキストや動画も活用し、公演としての内容に細部にわたる工夫を重ね内容の充実に努めている。宮城県白石市白石中学校では、毎年ワークショップを無料にて実施。一方で教員研修などの講師も各所で勤め、多角度からアプローチしている。</p> <p>【公演実施校例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年10月 「羽衣」 都立科学技術高校にて解説及び公演実施。 ・2019年4月 「羽衣」 私立 横浜女学院高等学校にて解説及び公演を実施。 ・2019年11月 「羽衣」 横浜市立緑が丘高校にて解説及び公演「羽衣」を実施 		
特別支援学校等における 公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年8月 佐賀県立金立特別支援学校にてワークショップを無料にて実施。 ・2019年10月東京都立町田の丘学園(特別支援学校)にてワークショップを実施。 <p>2020年、2021年も予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止。</p>		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	無	
	※公開資料有の場合URL	「No.1別添①」に記載	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	「No.1別添①」に記載
	PW:		

リンク先	No.1	【公演団体名 梶風会 】
項目内容	狂言『盆山』 https://vimeo.com/757580891 能『羽衣』 https://vimeo.com/754952360 パスワード:koufuukai	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 卓風会】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	能楽の面白さを体験してみよう！ 能「羽衣」と狂言「盆山」		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>「狂言+能」2つの異なる芸術表現を「知る(解説)×観る(鑑賞)×体験する」本公演。</p> <p>【第1部】みどころ解説(当日プログラムに沿って解りやすく)</p> <p>①ご挨拶 ②能楽鑑賞のマナーと本日の演目(狂言「盆山」と能「羽衣」)についてのお話</p> <p>【第2部】狂言・能の鑑賞</p> <p>①狂言「盆山(ぼんさん)」 ②能「羽衣(はごろも)」</p> <p>※新しい試みとしてプロジェクターとスクリーンにて舞台進行に合わせて各場面に対応したマンガを投影し、児童の鑑賞の一助とする。(字幕ではなくマンガにすることで、低学年の理解向上を目指す)</p> <p>【第3部】狂言のワークショップ「狂言を体験しよう！」</p> <p>①ご挨拶 ②「狂言」とは？《狂言の基礎的なお話》 ③狂言独自の発声(動物の鳴真似・「泣き」「笑い」「擬音」など)、構え(姿勢・すり足)を体験。</p> <p>【第4部】アフタートーク及び質問コーナーとご挨拶</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90分～100分</p>		
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	<p>■狂言「盆山(ぼんさん)」:盗みをしようとした者が主人に見つかってしまう。隠れた盗人は犬や猿の鳴きまねをしてみますが、主人に「鯛の鳴き声は？」と聞かれ困ってしまう。「滑稽性」という狂言の特徴的な要素を解りやすく表現した曲。</p> <p>■能「羽衣(はごろも)」:松にかかる美しい羽衣を見つけた漁師・白龍。家宝にと持ち帰ろうとするが、そこへ一人の女性が現れて、「返して欲しい」と頼む。一度は返すことを拒む白龍だったが、返すことにする。女は天人であった。羽衣を返してもらった天人は世に名高い舞楽を見せて、天空へと帰っていくのだった。能が持つ世界観が「直感的」に伝わる演目であり、「初めて観る能」としても相応しい。</p>		
演目選択理由	<p>■狂言「盆山」の選択理由:曲中では、犬の「ビョウビョウ」、猿「キヤーキヤー」鳴き真似やパントマイム的な動きなど見どころが明瞭。子どもの耳にも心地よい擬音がたくさん表現され、その真似のしやすい特徴的な発声は子供の記憶に残り想像力を働かせるためには良い選曲であると考え。小学校6年生の国語の授業で「表現の学び」の教材として取り上げられている。</p> <p>■能「羽衣」の選択理由:「天女の羽衣」の有名な物語は小学校の国語の教科書に掲載されており、また中学校の音楽の教科書にはこの曲が取り上げられている点から教育的観点重視。授業と共に立体的な指導も可能となる日本各地に古くから伝わる「羽衣伝説」をモチーフに描かれた能である。日本の歴史や風土にも鑑賞者の興味をむける機会として導きたい。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>事前ワークショップは「能の体験」+本公演当日のワークショップは「狂言の体験」。</p> <p>■公演当日でのワークショップ「狂言を体験しよう！」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狂言独自の発声を体験(生徒全員)。※犬や猿や鳶など動物の鳴真似(鑑賞演目「盆山」より)や「泣き」「笑い」「擬音」等 ・狂言の構え(姿勢)と運び(すり足)としぐさを体験(代表生徒)。 ・代表生徒10名に舞台上がって頂き、能楽師(狂言方)と共演。※緊張と高揚感を体感。「舞台からの眺め」などの実際に舞台上がった感想なども能楽師が生徒にきいていく。※事前ワークショップ「能の体験」の内容は「NO.3」に記載しております。 		
出演者	「NO.2 別添」に記載		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 16 名 スタッフ: 4 名 合計: 20 名	運搬	積載量: 1.25 t 車長: 4.965 m 台数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	11:30	11時30分～13時	13時～14時40分	10分	14時40分～15時20分	15時30分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分(95分～110分)程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	21日	20日	9日	19日	20日	
	11月	12月	1月	計	145日	
	20日	16日	20日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	10名～15名(能楽師と共演)生徒全員もあり。
		鑑賞人数目安	会場の入場可能人数。850人が過去最大



←体育館に舞台を設置した時のイメージ

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)



↑能「羽衣」の様子(過去の当該事業にて)



↑能「盆山」の様子(巡回事業での写真ではありません)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。



↑舞台上で演能している場面に該当するマンガを暗幕前に設置するスクリーンで同時に投影し、
低学年にもわかりやすくする。(例:白龍が天人に羽衣を返す場面)

リンク先	No.2	【公演団体名	皐風会】
出演者	<p>NO.2別紙メンバー表</p> <p>能楽界の中核を成す重要無形文化財総合指定保持者を中心に編成。</p> <p>【出演者】16名（公社）能楽協会会員の能楽師（シテ方・ワキ方・囃子方・狂言方）</p> <p>■事前ワークショップ「能を体験しよう！」及び公演当日の解説《1名》</p> <p>【シテ方】（観世流）小島英明（重要無形文化財総合指定保持者）</p> <p>■本公演当日のワークショップ「狂言を体験しよう！」及び狂言「盆山」の出演予定者《計3名》</p> <p>【狂言方】（大蔵流）善竹大二郎、大蔵教義、榎本 元他。 （和泉流）深田博治、高野和憲、岡 聡史、内藤 連、中村修一、能村晶人他。</p> <p>→【出演者の都合により左記より、計3名】</p> <p>■能「羽衣」の出演予定者《シテ方7名・ワキ方2名・囃子方4名 計13名》</p> <p>【シテ方】（観世流）小島英明、観世喜正、弘田裕一、駒瀬直也、中所宜夫、遠藤和久、奥川恒治、遠藤喜久、鈴木啓吾、永島 充、佐久間二郎、長山耕三、坂真太郎、桑田貴志、河井美紀、野村昌司、北浪貴裕、山中迅晶、馬野正基、長山桂三、谷本健吾、他</p> <p>→【出演者の都合により上記より、計9名】</p> <p>【ワキ方】（下掛宝生流）森 常好、殿田謙吉、宝生欣哉、梅村昌功、大日方寛、則久英志、舘田善博、野口能弘、野口琢弘他→【出演者の都合により上記より、計2名】</p> <p>【囃子方】（笛方）松田弘之、一噌隆之、八反田智子、栗林祐輔、小野寺竜一、藤田貴寛 他 （小鼓方）観世新九郎、飯田清一、幸 正昭、鶴澤洋太郎、田邊恭資、飯富孔明 他 （大鼓方）安福光雄、柿原弘和、柿原光博、亀井広忠、原岡一之、佃良太郎他 （太鼓方）桜井 均、吉谷 潔、梶谷英樹、小寺真佐人、大川典良、林雄一郎他</p> <p>→【出演者の都合により上記より、計4名】</p> <p>【スタッフ】5名（会場入りは4名）</p> <p>■舞台設営スタッフ 《2名》</p> <p>■出演者補助・調整・連絡：小島美樹（※能楽についての専門知識を有する）《1名》</p> <p>■運搬車ドライバー※人件費は運搬費に含まれる。《1名》</p> <p>■企画・監修：吉藤美紀（伝統文化コーディネーター・※資格及び専門的知識を有する）《1名》</p>		

【公演団体名 卓風会 】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	会場の入場可能人数。850人が過去最大
<p>ワークショップ実施形態及び内容</p>	<p>事前ワークショップは「能の体験」＋公演当日のワークショップは「狂言の体験」。</p> <p>■事前ワークショップ「能を体験しよう!」について</p> <p>※能楽師がオリジナルテキストにそって能楽を解りやすく解説する。オリジナルキャラクター「にゃんあみ」を「テキスト」と「動画・能楽堂案内」のナビゲーターとして登場させ、興味を持ってもらう。</p> <p>①ご挨拶 (挨拶の大切さについて理解を促す)</p> <p>②「能」とは(能の基礎的なお話)</p> <p>③動画「にゃんあみによる能楽堂案内」(会場の能楽師と掛け合うような構成。新しい試みでもある。)</p> <p>④参加者全員で「謡(うたい)」を体験。</p> <p>※鑑賞演目「羽衣」より。まっすぐに大きな声を出す「謡」の発声の方法を学ぶ。</p> <p>※最も重要なセリフ・「いや疑いは人間にあり。天に偽りなきものを」を謡って、曲の主題を理解する。</p> <p>⑤能の構え(姿勢)、運び(摺り足)を体験。(生徒全員)</p> <p>⑥鑑賞演目「羽衣」の一部を能楽師とともに演じてみよう。(代表生徒)</p> <p>※鑑賞演目「羽衣」より天人(主役・シテ)の立居・所作から能独特の「美しい」動作をテーマに体験。</p> <p>a.能楽師と一緒に天人のように「美しく」泣く動作をしてみよう。(生徒全員)</p> <p>b.長絹を着けて能楽師と一緒に天人のように「美しく」宝を降らす動作をしてみよう。(代表生徒)</p> <p>※「宝を降らす動作」とは扇をたてにゆっくりと仰ぐ動作のみ。最低限の所作でありながらも、「能の型」を美しく行うだけで、鑑賞者の想像を促す能の魅力を体験。「宝物はみえましたか?」と問いかけ、見えないものを見る鑑賞することの、楽しさ、素晴らしさを伝える。</p> <p>⑦能の楽器(四拍子:笛・太鼓・大鼓・小鼓)について体験してみよう(代表生徒4名)</p> <p>⑧能面に触れてみよう。</p> <p>a.本物の能面をかけて摺り足を体験してもらう(代表生徒)</p> <p>b.能面を付けた時の視野の狭さを体験(生徒全員)。</p> <p>c.本物の能面を近くで披露。角度によって異なった表情を見せる、能面の不思議な魅力を実際に紹介d.かんたんなペーパークラフトに挑戦(生徒全員)</p> <p>能の特徴の一つである能面をペーパークラフトで作成(事前に用紙を郵送し作成してもらって当日持参でも良い)。新しい試みでもある。</p> <p>⑨質疑応答</p> <p>⑩ご挨拶</p> <p style="text-align: center;"><u>※公演当日のワークショップ「狂言の体験」の内容は「NO.2」に記載しております。</u> <u>「NO.3別添①～④」に続く</u></p>		
<p>ワークショップのねらい</p>	<p>遠くても実は近い。能楽(能＋狂言)は難しくない。小1でもわかる内容に。</p> <p>・「能楽」は「能」と「狂言」という2つの演劇の総称であり、対照的な2つの芸能を一度の機会に鑑賞する事は、理解を深める上で効果的であると考え、ワークショップも「能」と「狂言」の両方を実施。</p> <p>・多くの生徒が「触れた事がない」「難しそう」と思っているであろう「能楽の世界」に対する壁を取り払い、「能楽に興味を持ってもらうプログラム」をにすることを意図した。オリジナルキャラクター「にゃんあみ」を「テキスト」と「能楽堂案内」のナビゲーターとして共通して登場させ、解説者である能楽師(講師)と掛け合いをする。能のあらすじ紹介にはマンガを作成しテキストに導入した。様々な考慮し小学校低学年でも解る能楽」を目指した。能面のペーパークラフトも新しい試み。工夫を重ねた。</p> <p>羽衣である「長絹」を身につけ代表の生徒数名が舞台上で能の動きを体験する。また生徒全員が「謡(うたい)」や能独特の身体の動き「構え」「運び」「運び」身体を使って能楽を体感でき、参加できる構成とした。「能楽って遠いようで近い」と気づいてもらうことを大切にしたいと考える。その「気づき」が、日本の言葉、歴史、伝説、美術、音楽等の学習に興味を広げればと考えている。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>スクリーンを持参して設置(学校のスクリーンを拝借できる場合も)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 1;">  </div> </div> <p>↑オリジナルキャラクター「にゃんあみ」はテキストと動画に登場し、能楽師と共にワークショップをナビゲートする。<u>暗幕の前にスクリーンを設置。</u></p>		

リンク先

No.3

【公演団体名

皐風会

】

事前ワークショップは「能の体験」

←楽器の四拍子を体験する



←能面を着けてみよう

←能面に触れてみよう
(公演後)ワークショップ
実施形態及び内容本公演当日のワークショップは「狂言の体験」←狂言独自の姿勢や、発声、
足の運びなどを体験

リンク先	No.3	【公演団体名	阜風会 】
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>テキストは解りやすく。あらすじはマンガで紹介 テキストは公演後も子供たちのそれぞれの手に残るものとして、その後も「音楽」「国語」「社会」「総合学習」の授業などで生かしてほしいという希望もある。また、当初は小学校でも中学校でも同じテキストを使用していたため、中学生には物足りない内容であることを考慮し、小学生用、中学生用でテキストの難易度を変え、適正を考えてそれぞれ作成する事とした。</p>		
	<p>→「能楽体験してみよう」ワークショップ用テキスト・(小学生用・令和2年度版) ※中学生用版もあり。 ※本年度申請した狂言の曲目は「盆山(ぼんさん)」 ※A4冊子・カラー版。全8ページ(表紙・裏表紙を含む) ※推敲を重ね、7版目(令和元年度版)。 ※「ニャンあみ」という猫のキャラクターがポイントを絞って案内していく構成。ドリル及びクイズ形式で楽しみながら進行できるようになっている。 《内容》能楽の世界へようこそ/能の音楽に耳を傾けよう/能の装束と面に注目しよう 能「羽衣」の物語を知ろう(漫画で紹介)/謡(ウタイ)をうたってみよう</p> 		
<p>表紙、裏表紙:ナビゲーターにゃんあみ登場。能楽師の正装、袴(かみしも)について早速解説。</p>			

リンク先 No.3

【公演団体名 皐風会】



6ページ～7ページ ※マンガであらすじ紹介

工夫を重ねる 能面(小面)のペーパークラフト

新しい試みとして能面のペーパークラフト案(A4サイズ)

※下記はまだペーパークラフト部分を制作して頂いた段階。1年生でも作れるように、親しみを持てるように、にゃんあみを入れるなどして、紙面を再デザインする予定。

※事前学習のツールとしても有用と考える。

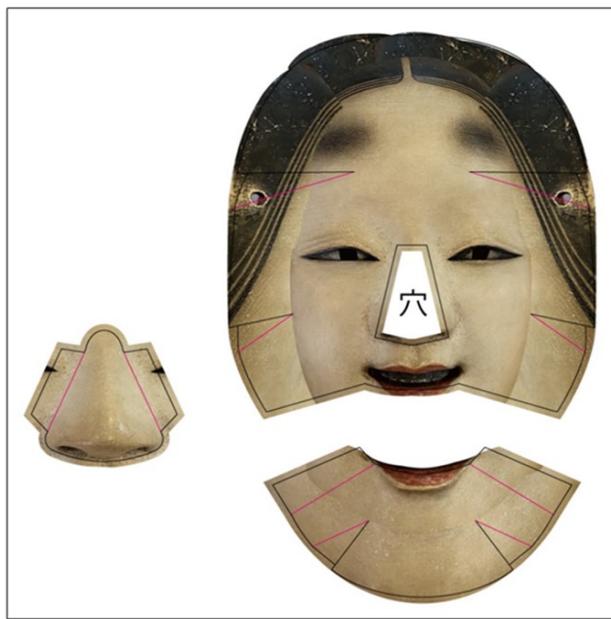
※切り取り線を制作順に色分けする。

※のりしろを大きく明記

※試しとして何人かの小学1年生の子どもに制作させてみたところ所用時間は約15分でした。

※中学生には、鼻の部分もある、さらに立体的になったものに挑戦してもらおうと考えている(下記)。

その他ワークショップに関する特記事項等項目内容



←この原稿をもとに、デザインしてA4サイズ1枚に仕上げる